

ヨコハマ市民まち普請事業

第二次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、土地・建物使用承諾書(第5号様式)、一次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	戸塚区 小雀町
提案名 (25字以内)	車椅子でもOK! だれでも集える多目的交流スペース
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	敷地内入口に建つ1軒(間取り2K)を新たに借りて改修整備を行う。 【建物全体】 自費での耐震工事。床、壁の改修。(下線部の整備が助成金対象) 〈バリアフリー〉 ・室内の全域を段差のないフローアにする。室内の一部は床を柔らかい素材にして、子ども達が座って遊べるスペースを設ける。又、車椅子の回転にも余裕を持った家具配置にする。収納も兼ねたベンチの設置。 ・車椅子で利用できるトイレの設置。ユニバーサルベッドの設置。 〈キッチン設備〉 ・キッチン設備の設置。上部が食器棚、下部が収納できるカウンターテーブルの設置。車椅子での作業を容易にする為に、カウンターテーブルの天板は一部二重にし、引き出せるようにする。客席に目配りできるような対面式のカウンターとシンクの設置。 ・キッチンの一角を仕切り、パントリーとして天井までの棚と、ドアを付けて、授乳室・更衣室を兼ねたスペースを設ける。 〈内装・デザイン〉 ・玄関に靴箱を置き、屋根を付ける。又、勝手口を設け、他のホームに行きやすくする。 ・小箱ショップの為の棚や、作品を展示できるような壁面ギャラリーの設置。 ・畑や花壇を見晴らせるよう、掃き出し窓など開口部を大きくして出入りができるようにする。また、テラスを設けて、自然との一体感がある空間にする。 【建物外部】 車椅子で段差なく屋外から室内に入ることができるスロープと出入口を設ける。必要に応じて樹木の伐採と庭の整備。
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第一次提案書より	①車椅子でも利用できるバリアフリーな「地域の居場所」となるよう、障害のある方や高齢の方、子育て中の方も含めて、地域の方が気軽に訪れ、ゆっくりとくつろぎながら交流の輪を広げられるような多目的スペースを設ける。喫茶事業では、飲み物やランチ(週1～2回)の提供、総菜、地場野菜の販売等を行うことで、新しい層の方も気軽に利用し、交流できる場となることを期待したい。又、ボランティアで支えるスタッフメンバーとして、車椅子利用の方など障害のある方も迎え、共に活動できるような配慮と工夫を行う。 ②介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)を行う「サロンの日」に

<p>具体的に記入してください</p>	<p>は、健康作りにつながる多様な活動を取り入れ、ランチタイム交流の後には、染めやクラフトなど、多世代の方にとっても魅力ある活動プログラムを用意し、要支援の方だけでなく、だれでも参加できる場を創る。</p> <p>③スマホ教室や絵手紙、調理活動などのワークショップを行う平日開催の「大人の寺子屋」では、地域の方に講師をお願いし、多様なプログラムを用意する。土曜日は、主に子どもたちを対象としたものづくりワークショップを行う。土曜日午後は「遊びの広場」として、ボードゲームを自由に楽しんだり、けん玉やお手玉などの遊びを通して世代間交流を図る。</p> <p>④スペースの壁面を利用した常設ギャラリーを設け、障害のある子どもたちの作品をはじめ様々な活動の紹介展示を行う。又、小箱ショップを設け、多世代の方に利用していただき、地域の方が制作する多彩な作品の魅力を発信したい。</p> <p>⑤スペースの貸室利用の時間を設け、町内会の集まりやご近所同士の小さな集まりの場としても活用していただき、つながりや交流が生まれる場としたい。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第一次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>①小雀町は、山坂の多い広域な地域で、交通の便も悪い。又、区内でも高齢化率や一人暮らしの高齢者の割合が高い地域でもある。その為、元気なうちから孤立しないような繋がりづくりや、介護予防に係る活動の場が必要とされているが、公的市民施設が身近に少ないため、歩いて行ける場所に誰でも立ち寄り、気軽に利用できる場が求められてきた。幸い、ちえのわホームは、バス停や医院から近い平坦地にあり、誰でも立ち寄り易い場所にある。現在、ここで行われている草木染や陶芸などの活動には、高齢者や中途障害者の方も参加されている。しかし、入口の勾配が急で車椅子が自力では登れず、また車椅子用トイレが無いため不自由な思いをされている方も多い。</p> <p>②そこで、新たなホームは車椅子利用者に対応した設備やカフェ機能等を設け、健康づくりをはじめとしたプログラムを充実させることで、どなたにとっても気軽に利用できる有意義な場になると考えた。さらには、既存ホームの活動との相互交流により、ちえのわホーム全体として子ども、障害者からお年寄りまでが様々な活動を楽しめる居場所となり、多世代、多分野の活動の出会い・ふれあいの場へと発展することが期待される。また、活動スペースが広がることで、感染予防対策の「密を避けた活動」を行うことができる。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>①2021年4月より整備に取り掛かり、耐震補強を含めた建屋の改修、内装やスロープなど外構工事等を行い、2021年内のオープンを目指す。</p> <p>②整備にあたっては、ちえのわのサポーターに地元の造園業や建築業の方がおり、また資材の廉価提供を申し出てくださいる支援者も現れ、低コストでより充実した改修工事ができる。</p> <p>③ちえのわ利用者やサポーター、小雀町内会の有志の方や、子ども達にも呼び掛け、建物周囲の草取りや花壇づくり、ウッドデッキのや外壁の塗装、室内壁の珪藻土を塗りなどを行うほか、エアコン室外機のカバー作りや、撤去した桜の古木のモニュメントづくりなどの木工作業を「ワーキングサロンの日」というイベントとして何回か行い、経費節減に努めるとともに多目的交流スペースが自分たちの施設として愛され、地域に根を張る機会としたい。</p> <p>④バザーによる資金集めや出資、募金の協力をお願いしていく。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>①ぐるーぷ・ちえのわを運営するNPO法人を2022年3月までに設立するよう準備を始めている。</p> <p>②運営の大きな柱として介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)を行う。その他、ちえのわホームが持つ機能を生かした各種ワークショップの参加費や喫茶事業、貸室利用等による収益を見込んでいる。</p> <p>③運営は、ちえのわのスタッフと有償ボランティア、合わせて約30名程度により活動内容に合わせて協働体制をとる計画である。また、サービスBに関わる活動では、小雀町内会、老人クラブ、原宿地域ケアプラザ、戸塚区区民活動センター等と連携し、ボランティアや参加者の輪を広げていく。</p> <p>④活動内容に対して、戸塚区社会福祉協議会や地域ケアプラザ、近隣の介護老人保健施設等から必要に応じて指導助言を得て進めていく。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>一次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>①地域への事業の周知と理解促進：11月に地権者、近隣住民、町内会役員会、既存のホーム利用者への事業説明を行った。また、町内会広報誌「小雀だより」に、当事業の主旨や「ちえのわご紹介のつどい」の開催について寄稿した。町内会の回覧板に「ご紹介のつどい」のチラシを入れ、周知を図った。「つどい」の当日は約50名の参加者を得て、参加事業の説明や施設の内覧、希望する事業企画を投票方式で何う試みなどを行った。2月にも同様の「つどい」を開催して関心や支援の輪を広げていく予定。</p> <p>②ちえのわ利用者やサポーターの参加：より活動の輪を広げ、使いやすい施設とするべく、改修へのアイデアを募り参画を図ってきた。</p> <p>③視察・調査：紹介を受けたコミュニティカフェの視察を行い、施設整備の工夫や運営面で、具体的な話を聞かせてもらった。</p> <p>④これまでも、ちえのわの活動に関心を寄せて下さっている近隣の小中学校（小雀・大正小学校・大正中学校等）東俣野特別支援学校へ、経過報告とこれからの活動へのご理解をいただく為に説明に何う予定。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>①地権者は当初より、ぐる一ふ・ちえのわの活動に賛同して下さっており、今回の申請による施設改修、及び事業改善の同意をいただいている。</p> <p>②近隣住民に対しては、11月中旬に各戸を訪問し、事業の説明を行って同意を得た。いずれも好意的な受け止めと応援する旨の回答をいただいた。</p> <p>③町内会役員会（11月1日）に出席し、当申請による事業改善の予定を説明し、会長から応援するとの返事を得た。</p> <p>④戸塚区役所、戸塚区社会福祉協議会、大正地区社会福祉協議会、原宿地域ケアプラザ、戸塚区区民活動センターや近隣の介護老人福祉施設から、ご理解・ご協力・応援をいただいている。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>①小雀町を含む大正地区には長年暮らしておられる方が多く、昔からの生活の息づかいが聞こえる地域である。この地で育まれてきた様々な遊びや生活の知恵、郷土に対する思いやつながりを大切に、次世代へ伝えたい。</p> <p>②新たにできる活動スペースを地域の幅広い世代の方々にも利用してもらい、特に次世代を担う若い人の発想を活かした新しい活動の芽を育てていくことで、この地域から多彩な魅力を発信する一助としたい。</p> <p>③ちえのわホームの周辺は造園業者の豊かな緑に囲まれた、のどかな落ち着いた環境である。小雀の豊かな自然環境を生かした改修整備を行うことで、子ども達にも町の魅力を更に発信していきたい。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>①ぐる一ふ・ちえのわの活動は、30年余り前から小雀町の多くの方たちに支えられてきた。障害のある子どもや青年たちの学習支援や余暇支援の活動は、地元の方々の理解のもとで活動を広げてこられた。この風土の中で、高齢期の方々と障害のある若い世代とが出会い、ともに活動する機会を持つことで、地域の中で共生の意識がごく自然に生まれ、多様性と包摂性のある社会へと深まっていくことを期待している。</p> <p>②今後も、ちえのわホームが持つ機能やスペースを活かし、関係機関と連携しながら、支援を必要としている子ども達、親御さんたち、高齢者の方たちに寄り添い、支え合える、温かな地域社会をめざしたい。</p>

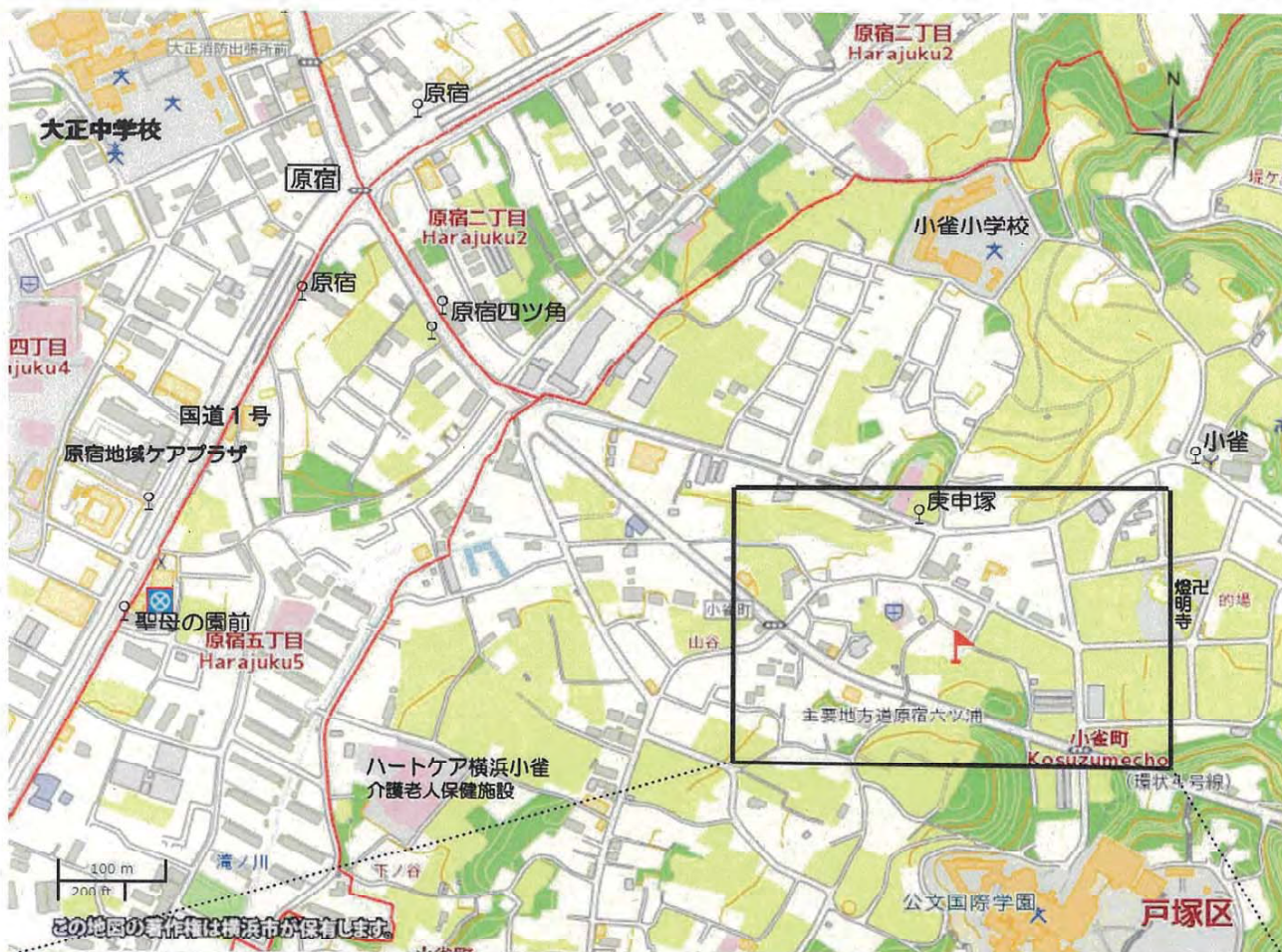
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

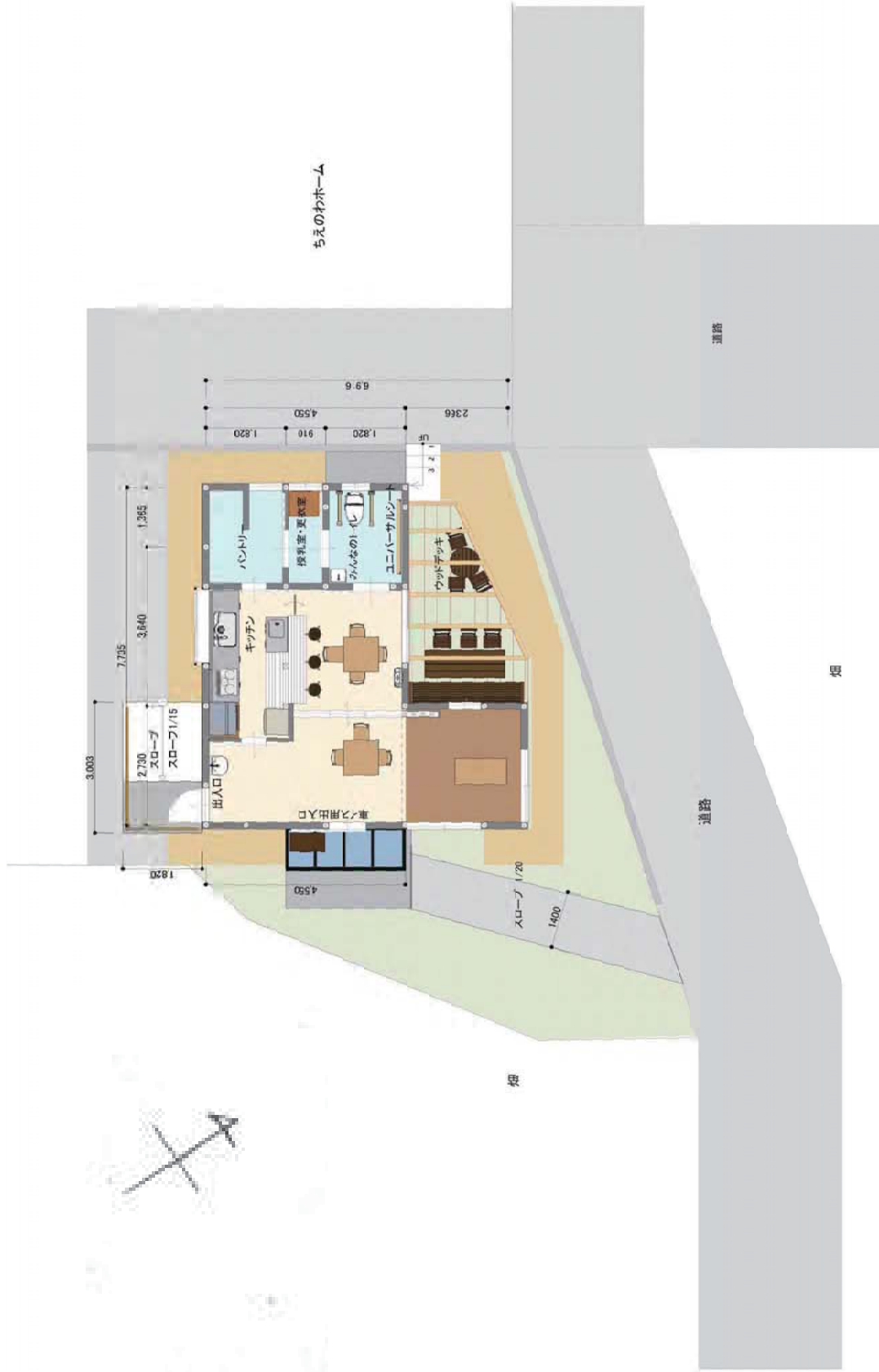
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図

ぐるーぷ・ちえのわ

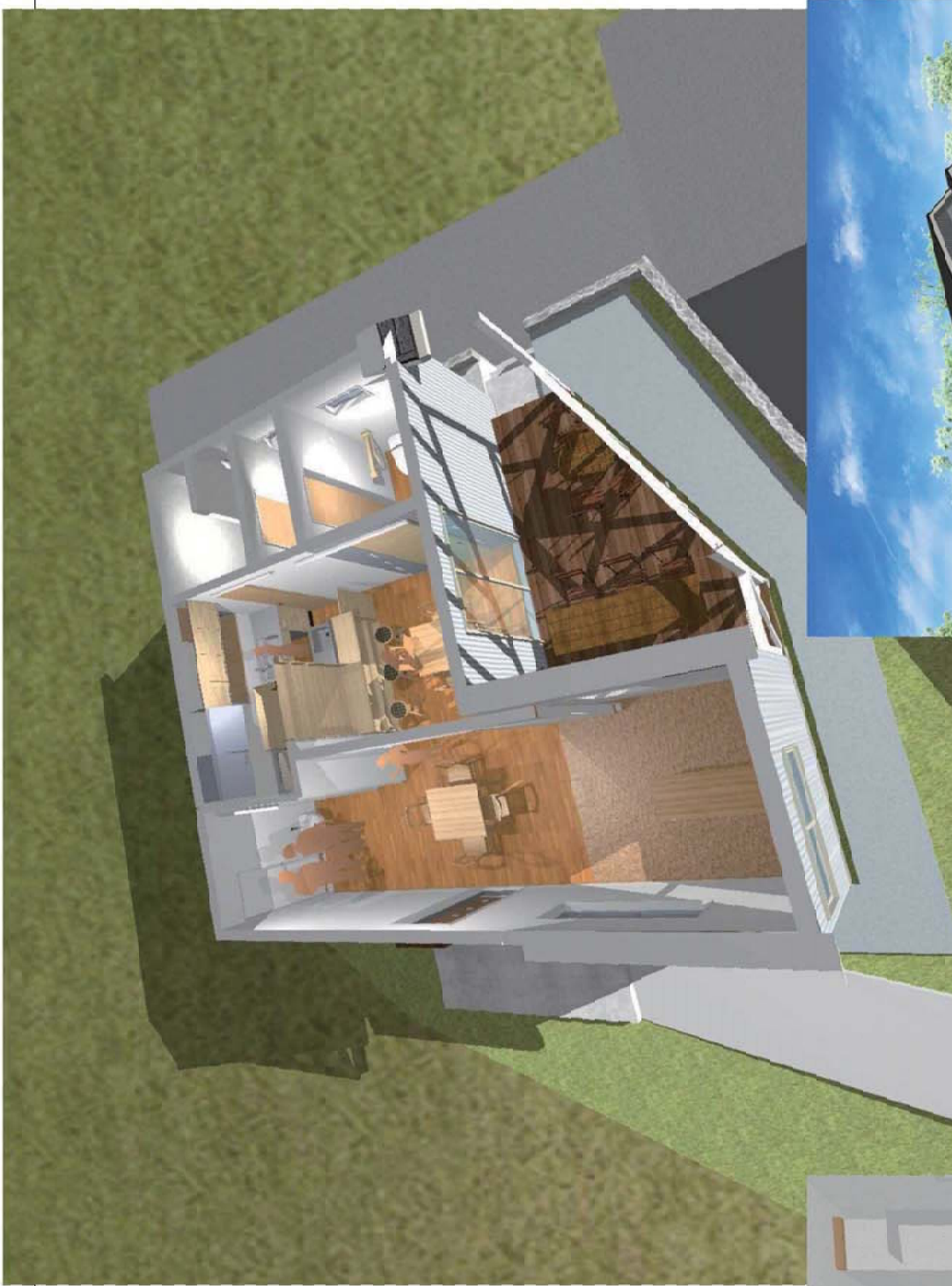
(戸塚区区民生活マップ一部加筆)



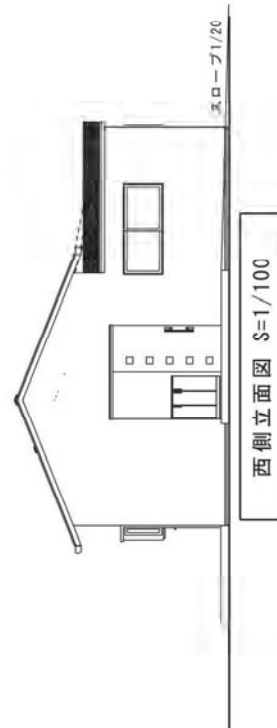
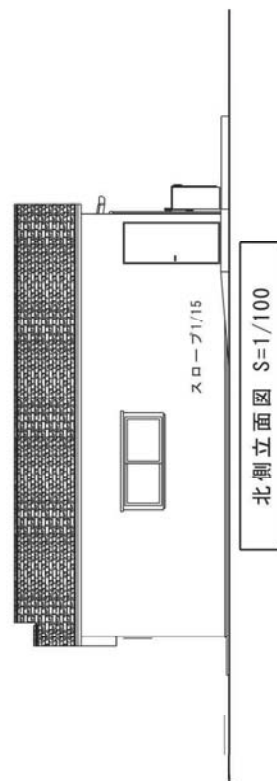
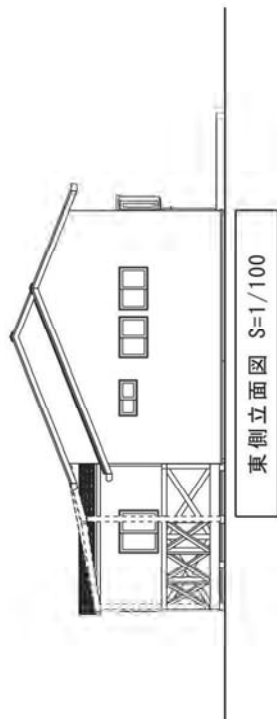
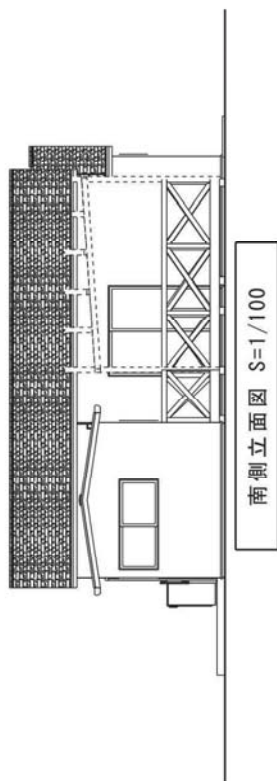


平面図兼 配置図

1階床面積	42.04 m ² (12.89坪)
-------	----------------------------------



完成予想図



工事名称 ちえのわホーム改修工事	図面番号 立面図	縮尺 S=1/100	日付	図番
---------------------	-------------	---------------	----	----

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
共通仮設工事	養生・隅だし 発生材処分費	一式	317,000	317,000	
解体工事	内部解体(外部一部) 是正工事・処分費	一式	1,039,000	1,039,000	
木工事	床組・フローリング 天井下地・耐震工事	一式	2,875,000	2,875,000	
板金工事	壁・屋根補修	一式	196,000	196,000	
内装工事	下地パテ・塗り壁 天井クロス貼りなど	一式	191,000	191,000	皆で壁の珪藻土塗りを 行い経費削減する。10 人ほど、3日間予定
サッシ工事	サッシ交換・玄関ド アなど	一式	535,000	535,000	
電気設備工事	電気配線・照明器具 など	一式	680,000	680,000	
給排水設備工 事	給水給湯排水管 トイレ・洗面など	一式	390,000	390,000	
設備機器工事	キッチン・洗面器 トイレなど	一式	700,000	700,000	中古品を探して減額を する予定
外構工事	スロープ・ウッドデ ッキ・土間コンクリ ート	一式	1,450,000	1,450,000	地域のボランティアや 子ども達と草取りや整 地作業の手伝い2回
現場管理・諸 経費	現場監理	一式	350,000	350,000	
設計料	設計費用	一式	200,000	200,000	
合 計				8,923,000 (税込み)	

一次コンテスト以降の活動内容

■タウンニュースより取材を受け、戸塚区版に一次コンテスト通過が掲載される。(10月29日)

■小雀町内会役員会で報告を行う。(11月1日)

○右記のようなチラシを元に、新たな改修整備により、車いすでも利用できる多目的スペースを創り、地域の幅広い年代の方たちの交流を図りたい旨をお伝えする。小雀地区の課題も提示し高齢の方が孤立しないような、つながりが生まれる「地域の居場所」づくりへのご理解と協力をお願いした。



■既存のちえのわホームの利用者やその保護者の方たちに向けた説明会、ご紹介の会を行う。(11月14日15日)

○参加者からスペースに対する思いをいただく。(詳細は[その他資料](#))



通路やトイレ、キッチンなど全体的に広いと嬉しいです。料理をしたり皆と遊んだりしたいです(車椅子利用の高校生より)

■「ぐるーぷ・ちえのわご紹介のつどい」を開催(11月29日)

○ちえのわの活動のご紹介と、改修整備を計画している現地をご案内するつどいを開催。感染対策に配慮しながら屋外を中心に染めなどの体験や遊びのコーナー、バザーなども行った。改修後この場所で行いたいこと、参加したい企画のアンケートを投票形式で行った。(詳細は[その他資料](#)参照) 予想以上に多くの来場者を得て、地域の方々へのご理解、ご協力の輪を広げる一歩となった。2月にも同様の会を予定している。



○改修整備場所の内覧風景



○投票方式でのアンケート



○ジャンボしゃぼん玉遊び



○染め体験コーナー

■町内会報「小雀だより」へ寄稿(11、12月号) 関心の一助となるように広報を行う。

■近隣の方、老人会の方へ説明に伺う。(11~12月)

■地区社協、区社協、地域ケアプラザの方々との懇談の場を設け、アドバイスをいただく。

■施設見学会を行い、実際に運営されている場を見学しお話を伺う。(11月25日、1月5日)

■まちづくりコーディネーターにアドバイスをいただきながら、改修整備に向けたハード、ソフト両面での検討を重ねる。

『車椅子でも OK！だれでも集える多目的交流スペース』へ

- 1987年6月 「ぐるーぷ・ちえのわ」誕生。…ちえちゃんを囲む輪から生まれ、障害のある人もない人も共に楽しく活動ができる場を創ろうと、1泊キャンプ 20年、ケアプラザでの「遊びの集い」15年。
- 2006年4月 小雀町に第1ちえのわホームが多くの方のご協力を得て誕生。学習支援の寺子屋始まる。以降、2Kの借家が空くたびに1軒ずつ増えて…
- 2009年4月 第2ちえのわホームオープン。特別支援学校・学級の子どもたちを中心とする余暇活動の拠点として。
- 2011年4月 ちえのわみんなの家オープン。さをり織りの活動の拠点として。
- 2017年4月 アトリエ十色オープン。草木染、陶芸などの活動の拠点として。
- 2020年 最後の1軒が空き家に。『まち普請』に応募、『車椅子でも OK！だれでも集える多目的交流スペース』の実現



まなぶ・あそぶ・つくだす

十つながる・支え合う・地域で生きる



だれでも集えるバリアフリーな地域の居場所



■ちえのわホームの利用者・保護者たちの声

(11/14・15の説明会で)

障害のある人でも安心して過ごせる場所、自由にお話できる場所、自然の中で過ごせる場所に。

10年前から通っているちえのわが、年を重ねてもいつでも通える場として残ってほしいです。

いつでもあいているカフェで、お年寄りから近所の小学生も集まれる場所ができると楽しいですね。

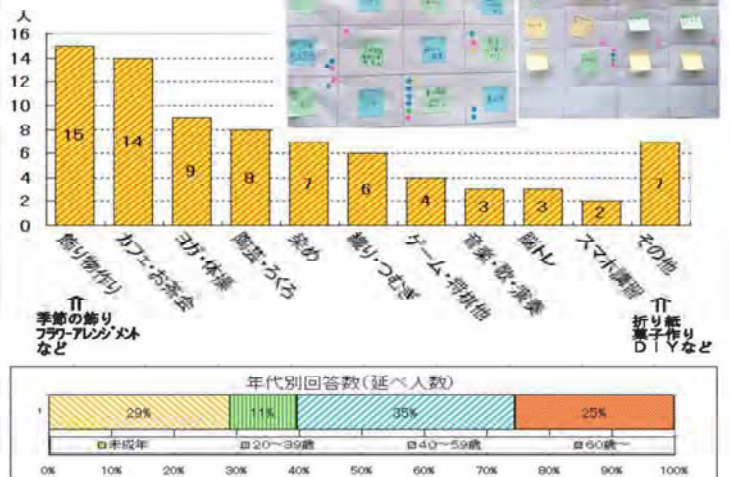
お互いに支えてもらったり支えたり…お互い様の関係ができる場であると良いです。

私も高齢の親を介護しているので、介護予防のサロン、とっても良いと思います。母の行っている所はビルの一部屋ですが、ここは緑もあり、とっても素敵だと思います。息子と母と一緒に遊びに来られたら素敵だと思います。母は足が悪いのでたまたまにはすわれません。イスとかで活動できるといいと思います。

車椅子の方が使いやすい場所にしていただけると本当に良いと思います。杖をお使いの方にとっても入りやすいと思います。

■ちえのわ紹介のつと(11/29) 来場者の関心

来場者は約50名。参加の希望で最も多かったのが飾り物作り、次いでカフェ・お茶会でした。



多目的交流スペース 週間スケジュール

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00							
10:00	音楽カフェ (レコード鑑賞) +野菜販売(毎週) +総菜販売(毎週) +カレーya十色(月1回)	大人の寺子屋 (1,3週 例: パソコン教室/ スマホ教室)		親子カフェ	健康麻雀/ 囲碁・将棋	ものづくり ワーク・ ショップ(1, 3週)	貸 室 利 用
11:00			サロン(サービスB) (健康づくり) +ランチタイム交流 +染め・クラフト)		カフェ		
12:00		大人の寺子屋 (2,4週 例: 絵手紙教室/ 書道教室)	みちくさカフェ	カフェ	カフェ	遊びの広場 (2,4週)	
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00	貸室利用	貸室利用	貸室利用	貸室利用	ほろよい カフェ (月1回17:00 -20:00)	貸室利用	
18:00							
19:00							
20:00							

※開館時間 10:00~16:00 ※日曜日及び平日夜間は、予約の上貸室利用(半日単位)を受け入れます。
 ※金曜日の健康麻雀/囲碁・将棋は、参加費1人200円で自由に遊べる日です。
 ※水曜日の「みちくさカフェ」は、中高生が立ち寄ってくつろげる場をイメージして夕方6時まで開いています。

多目的交流スペース収支計画案

■収入の部

科目	内容	数量	単位	単価	金額	備考
助成金	総合事業(サービスB) 活動費	12	月	50,000	600,000	介護予防・生活支援サービス補助事業
	総合事業(サービスB) 家賃	12	月	100,000	1,200,000	介護予防・生活支援サービス補助事業
事業収入	総合事業(サービスB) 参加費	12	月	16,000	192,000	参加費800円×5人×4週
	カフェ事業	12	月	105,000	1,260,000	スペシャルコーヒー400円×15人×4週、ドリンク200円×50人×4週、クッキー150円×25人×4週、カレー(月1回)800円×20人、総菜(週1回)250円×10ヶ×4週
施設利用料	貸室利用料	12	月	15,000	180,000	貸室(半日500円×2回×4週)、小箱ショップ(月1000円×8ヶ所)、壁面(週3000円×1週)
	ゲーム使用料	12	月	3,200	38,400	囲碁・将棋・健康麻雀利用料(1人200円×4人×4週)
講座・イベント収入	寺子屋・ワークショップ参加費	12	月	23,000	276,000	大人WS800円×5人×4週、子どもWS500円×5人×2週、あそびの広場100円×10人×2週
雑収入	野菜直売	12	月	4,000	48,000	野菜販売(週1回)手数料1000円×4週、
合計					3,794,400	

■支出の部

科目	内容	数量	単位	単価	金額	備考
家賃		12	月	100,000	1,200,000	
人件費	ボランティア謝金	12	月	24,000	288,000	喫茶運営ボランティア500円×2人×6日×4週(9:00~13:00、12:30~16:30)
	サロン(サービスB) 運営者謝金	12	月	26,000	312,000	(プログラムリーダー+昼食担当)×4週+統括×1月
	ワークショップ講師謝金	12	月	16,000	192,000	講師2,000円×2人(寺子屋1、ワークショップ1)×4週
光熱水費	電気、ガス、水道料	12	月	20,000	240,000	
通信費	電話・インターネット接続料	12	月	10,000	120,000	
広告宣伝費	チラシ作成	12	月	15,000	180,000	チラシ1,000枚作成(町内回覧、福祉施設等配布)
材料費	カフェ食材料費	12	月	50,000	600,000	コーヒー、カレー、ドリンク、クッキー、総菜
	寺子屋・ワークショップ材料費	12	月	4,000	48,000	(寺子屋+ワークショップ・あそびの広場)×4週
	総合事業(サービスB) 材料費	12	月	13,000	156,000	参加者昼食、WS材料×4週
消耗品費		12	月	15,000	180,000	清掃用具、トイレトペーパー他
保険料		12	月	6,000	72,000	施設賠償保険、火災保険、ボランティア保険
修繕積立金		12	月	17,200	206,400	建物老朽化に伴う改修費用他
合計					3,794,400	